

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



ShinXia公式サイト



地域で学び、未来を拓く。

課題に出会い、自分を超える。



ShinXia

シンシア

「しあわせ信州」を
創造する
地域活性化高度人材
育成プログラム

学生の主体的な選択を社会は邪魔できない。社会からの学生への期待は大きいですが、社会はあくまで学びの伴走役。
地域活性化高度人材育成プログラムShinXiaでは、学生の主体性をどう引き出すかを追求します。

学生からの期待、地域からの要請に応える 充実のShinXiaプログラム



好奇心を広げる、 3大学の学びが手に入る！

ShinXiaプログラムには、信州大学・長野大学・佐久大学が参加。
3大学それぞれが特色ある科目を開講し、
時間や場所に縛られず学べる「オンデマンド型授業」も充実しています。
自分の興味に合わせて、普段の大学では学べない分野にも挑戦できます！



文理の枠を超えて、 社会で生きる知識を！

現代社会では、異なる分野の知識を組み合わせる力が求められます。
ShinXiaでは、人文・社会科学 × 自然科学 のように、
学問を横断しながら学修の幅を広げられます。
「知的好奇心が刺激される」「新しい視点が得られる」との声も多数！



ゲスト講師 × ディスカッションで 「自分の軸」が見つかる！

対話型授業「立志学」では、ゲスト講師と直接議論できます。
学生同士で意見を交わし、多様な考えを知ることで、
自分を見つめ直す機会になります。
「考えが深まった」「自分の意見に自信が持てるようになった」という声も。

自身で課題を設定し、解決する実践力を持った
地域活性化人材を育成します。



信州が持つ風土とそこに暮らす人々の自然・文化・産業に理解を深めます。信州に生きる人の営みと別の大学・学部・学科の学生との対話を通じて、さまざまな視点や価値観に触れ、信州で暮らす一員として、信州に関心を寄せ、向き合うべき問いが何かを考える機会を提供します。

学修における教養と専門の互恵性を強化するため
1年次から4年次まで段階的に授業を配置

1~2年次

豊かな文理横断的な教養を身に付け、探究心・創造的
思考力・実践的行動力を育みます。

3~4年次

大学・学部・学科を超えたプロジェクト学習等への
参加を通して実践と能力の磨き上げを行います。

地域に学び、価値を生み出す人材へ

地域に根ざした学びを通じて、課題を発見し、新たな価値を生み出せる人材を育成します。
ShinXiaプログラムで学んだことを活かし、地域と共に未来を創ることを目指します。



大学への期待

学生からの期待



自分が変わる
きっかけを得たい



具体的な企画を形にしていく
力を身に付けたい



新しく興味を持てるものに
出会いたい



自分で学んでいく、
自分で発見していく場に期待



さまざまな経験から学びたい

違いを受容する力を持っている人

自分で問いを立てられる人

地域からの期待

答えが一つじゃないようなものに対して、
どう解決していくことができるか考えられる人

文系理系を往復するような感覚を持ち、
それを好奇心を持ってどんどん歓迎していける人

専門性／知見とコミュニケーション能力の

バランスの良さを持った人

学長挨拶

信州大学学長 中村 宗一郎

長野県の大学進学者のうち、約8割が県外に進学することをご存知でしょうか。私はこの数字に問題意識を持っており、県内の若者が県内で学びたいと思ってもらえる充実したプログラムを造成するため、この地域活性化人材育成事業～SPARC～に手を挙げました。

昨今、人間の仕事がAIにどんどん置き換わっていくと言われます。しかし、自ら問いを立て、ビジョンを描き、その達成に没頭できる情熱は、人間にしか持ちえないのではないのでしょうか。心に火をつけるものの一つが、自由になるための学び「リベラルアーツ」であり、深く地域を知ること、心の奥底から湧き上がってくるものこそが、起業家精神の原点になると思います。そこにAIの居場所はありません。自らが0から仕事を生み出す、そんな選択肢を持っていてもいいのではないのでしょうか。このおらかな信州での実践を通じて、一人でも多くの若者がのびのびと自由に発想し、未来に向けた情熱と次代を担うリーダーシップが育まれることを期待しています。



長野大学学長 小林 淳一

DX(デジタル・トランスフォーメーション)人材とは、現場に近いところから新たなテクノロジーを使うことによって既存の産業や社会システムに変革を起こしたり、新しいシステムを構築する人材だと考えています。そこには文系も理系もありませんが、産業や社会システムのどこにどんな大きな問題があるのかを発見していくことが重要です。その上で、専門性を身に付けながら、ある領域を束ねられる人材が社会や地域から求められているのではないかと考えています。

大学には、地域のみならず多種多様なリクエストをいただきます。依頼する側と引き受ける側という小さな枠組みの場合もありますが、地域の問題は複雑に入り組んでいることから、大学独自で地域の将来を考え、大学全体で取り組む姿勢が問われていると考えます。地域活性化人材育成事業～SPARC～は立地も領域も異なる3大学が参画しています。地域が求める人材育成と、難しくとも長野県全体の大きな問題に取り組み、技術開発と社会実装を目指す新たな大学連携モデルが構築されることを心から期待しています。



佐久大学学長 坂江 千寿子

福祉に関係する仕事は幅広く様々ですが、いずれも現状を把握し、課題に気づき、より良い変化をもたらすための工夫と柔軟な発想が求められます。状況をよく知り、人の思いを聞き取り、生活のしづらさを解消していくという点は、福祉の取り組みも地域活性化の共通のテーマであると感じます。人間を対象とした支援は一人で完結できるものではなく、様々な職種の連携によって成り立つものです。周囲との協力は必要不可欠で、そのための対話的コミュニケーション、自己理解や相互理解も大変重要になってきます。フィールドの異なる他大学生との交流やディスカッション、体験を通して学ぶ、地域課題解決型PBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)では、自由で豊かな発想力と、他者と協働して物事を推進するための力を養えることでしょう。地域活性化人材育成事業～SPARC～での学びは、視野を広げ、社会に出た際の大きな支えとなるはず。自ら働きかけ、周囲の人と人とを繋げられるような人材が育まれることを期待しています。専門分野を超えた学びの機会、ぜひ楽しみながら存分に取り組んでください。



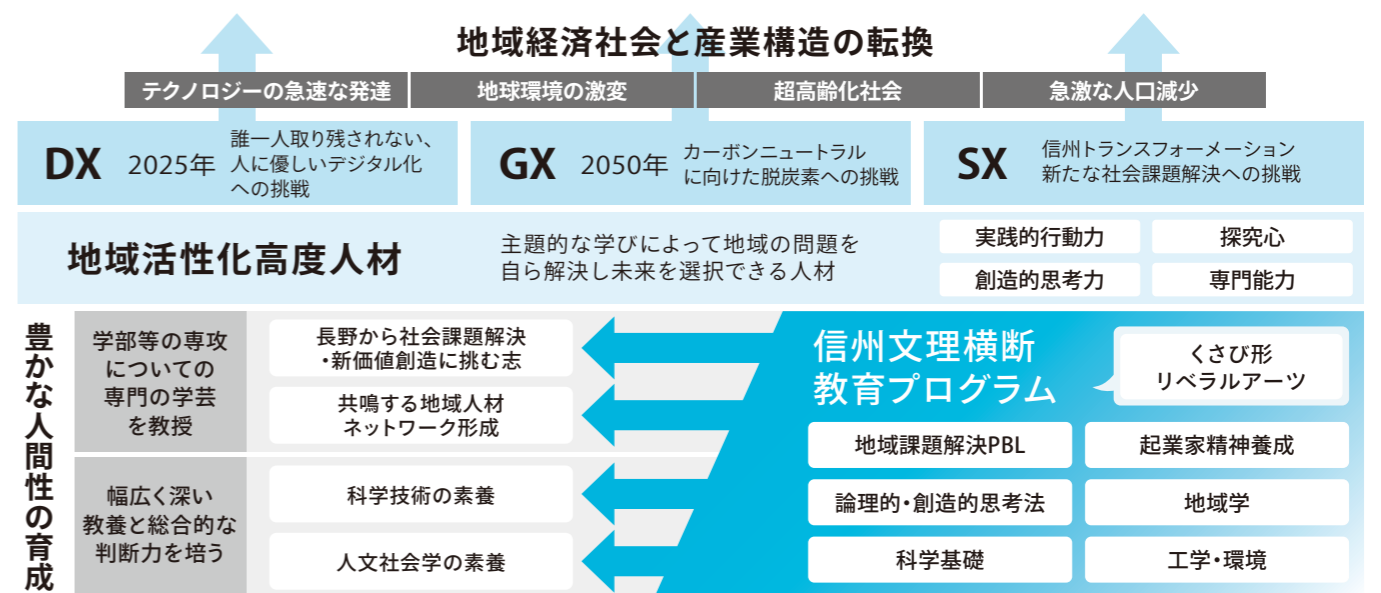
ShinXiaプログラムの特徴

地域の大学における課題 Society5.0を支える人材として、自然科学の素養も求められる中において自然科学を専攻する学生は3割	地域社会が学生に期待・評価する能力の養成に 大学の実施する教育プログラムが十分に対応・機能していない	本格的な産学連携が進まず、 外部リソースの獲得が不足
--	--	--------------------------------------

地域社会と大学間の連携を通じて 既存の教育プログラムを再構築し、地域を牽引する人材を育成

本事業で目指す姿 	大学間連携 により、文系学部でも自然科学の素養を身につけられる教育体制を整備し、教育内容の充実を図る (学部等の再編、拡充など科学技術分野の人材育成を促進)	地域社会との本格的連携 による人材育成・イノベーションの創出	大学の学びを 地域社会のフィールドへ展開
---------------------	--	---------------------------------------	-----------------------------

SPARCとは | “**Superminent Program for Activating Regional Collaboration**”
 の頭文字を組み合わせた略称で、文部科学省事業です。



事業のポイント

- ▶ ShinXia LMSにて大学間のシステムを統合し、連携開設科目によって**距離・時間の壁を超える**
- ▶ **オンデマンド講義を活用**して、各大学に必要な文理融合の授業を履修できる
- ▶ 実社会と接続する拠点や地域で、課題解決と解決実践の講義をきっかけとして、地域へ関わる人材を育成する

オンデマンド型授業 時間や場所に縛られず、自分のペースで学修可能。普段の大学では学べない他大学の特色ある科目にも挑戦できます。	文理横断の学び 人文・社会科学から自然科学まで、分野を横断して知識を組み合わせることで、現代社会に必要な柔軟な思考力を養います。	対話型授業 ゲスト講師との議論や学生同士の対話を通じて、「自分の軸」を発見。多様な価値観に触れ、視野を広げます。
---	--	--

プログラムの全体像

プログラム 対象者

信州大学

経法学部 応用経済学科 / 工学部 物質化学科 / 工学部 電子情報システム工学科
工学部 工学科 (応用化学コース、環境・エネルギー材料コース、電気電子コース、情報サイエンスコース、情報デザインコース)
繊維学部 先進繊維・感性工学科 / 繊維学部 化学・材料学科

長野大学

社会福祉学部 社会福祉学科

佐久大学

人間福祉学部 人間福祉学科

修了認定要件とプログラムの概要 (カリキュラム・マップ)

修了認定要件

☑ 必修6単位、選択必修4単位、合計10単位を修得することで認定される

プログラムの概要

- 1 「データサイエンスリテラシー」「信州学」「地域課題解析講座」「経営組織論」を受講する (必修)
- 2 [科学]から2単位、[工学・環境]から2単位を受講する (選択必修)
- 3 3年次以降、「地域課題PBL」(Problem-Based Learning / 課題解決型学習)を受講する (必修)
- 4 ①～③10単位に加え、興味に応じて選択科目が履修可能 (7ページの科目一覧を参照)

履修相談 / ガイダンス

必修 信州学 (前期・後期 / 1単位)

◀ 前期にShinXia LMSに登録

必修 データサイエンスリテラシー (前期 / 1単位)

① ポートフォリオ・自己目標 / 評価を記入 (4月・7月)

選択必修 [科学] から2単位 物理学の世界 / 化学の世界 / 生物学の世界 / 地学の世界 / 化学と材料の進歩が世界を変える / 地球の鼓動と暮らす : 災害・資源・文化を読み解く

選択必修 [工学・環境] から2単位 工学入門 / 環境学入門

② ポートフォリオ・自己目標 / 記入を記入 (9月・1月)

必修 経営組織論 (前期 / 1単位)

③ ポートフォリオ・自己目標 / 記入を記入 (4月・7月)

必修 地域課題解析講座 (後期 / 1単位)

④ ポートフォリオ・自己目標 / 記入を記入 (9月・1月)

必修 地域課題PBL (前期・後期・集中 / 2単位)

⑤ ポートフォリオ・自己目標 / 記入を記入 (4月・7月) 後期の場合は (9月・1月)

単位取得、ポートフォリオ・自己評価を確認し、修了判定

修了認定、デジタル認定証 (オープンバッジ) の交付

必要単位を取得し、修了判定を行います。修了者には、信州大学・長野大学・佐久大学の学長の連名で、修了証が授与されます。また、修了認定デジタル証明 (オープンバッジ*) が交付されます。

*オープンバッジとは、世界標準規格に沿って発行されるデジタル上の「知識・スキル・経験の証明書」です。ブロックチェーン技術により偽造・改ざんが困難で、SNSや電子メールで容易にシェア・可視化できるため、国内外の企業や大学で教育研修、合格証明、スキルアピールツールとして急速に普及しています。



履修登録方法

履修登録方法

信州大学

1年次
前期

他の共通教育科目同様にShinXiaコース対象科目の履修登録を行ってください。ShinXiaコース選択希望者は、授業の抽選に応募する際に、「ShinXiaコース希望者」欄に忘れずにチェックを入れてください。

1年次
後期
以降

他の科目と同様、履修登録を行ってください。

信州大学生のShinXiaコースへの登録は、1年次後期からです。ShinXiaコース履修希望者を対象に、前期中に説明会を開催します。説明会において、コース登録方法の詳細をお知らせします。

長野大学

社会福祉学部社会福祉学科の学生は、必修科目については登録必修となり、事務局で履修登録します。選択科目については、通常どおり履修登録を行ってください。

佐久大学

人間福祉学部1年生について、他の科目と同様に履修登録を行ってください。ShinXiaコースの登録については、別途説明します。

ShinXiaの最初の入り口はここ!

ShinXia-LMS

ShinXia (SPARC) の受講スタイルのほとんどが「オンデマンド型」で、ShinXia-LMS (Learning Management System) を通じて配信します。何はともあれ、まず、ShinXia-LMSにアクセスしてみましょう。以下のとおり、アクセス方法が大学により異なりますのでご注意ください。なお、授業ごとのページを「コース」と呼びます。



◆ShinXia-LMSのアクセス方法

信州大学

履修登録前: eALPS アクセス後、「年度共通サイト」欄の「ShinXia-LMS」からアクセスし、コースを閲覧したい授業名で検索をしてください。
履修登録後: eALPSの時間割に表示される授業名をクリックすると、自動的にShinXia-LMSに遷移します。
※eALPSの利用方法は「共通教育履修案内」に掲載されています。

長野大学

<https://sparc.nagano.jp/students/> または右の二次元コードにアクセスし、各大学から案内されたユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。

佐久大学

履修登録前: コースを閲覧したい授業名で検索をしてください。
履修登録後: 表示される授業名をクリックすると、その授業のコースにアクセスできます。



ShinXia-LMSは、オンデマンド型の授業以外でも利用しますので、対象者は定期的に確認するようにしましょう。授業の配信以外にも、教材の掲載、課題の提出、小テストや授業アンケートの実施など単位修得までの間になすべきことが表示されます。また、フォーラム (電子掲示板) 機能を活用して、意見交換することも可能です。

受講生の声

ShinXiaプログラムは15分の講義と小テストを組み合わせたオンデマンド授業で、空き時間に無理なく着実な学びを積み重ねられます。文理を問わず幅広い分野に挑戦でき、動画を止めて調べたり友達と相談したりと、自分のペースで進められるのも魅力です。視野を広げたい人に心からおすすめします。



信州大学2年
濱田 蓮さん

ShinXiaはオンデマンド形式で、空き時間に無理なく学べます。文系の私にはデータサイエンス等の理系科目が難しく感じることもありますが、友人と確認し合うことで理解が深まります。幅広い分野に触れて視野が広がり、新たな興味も芽生えました。自分のペースで可能性を広げたい人に最適です。



長野大学2年
阿部 真歩さん

科目一覧

科目で身に付けられる
地域活性化人材の能力等
(9ページ参照)

カテゴリー	授業名	単位数	対象学年	必修/選択	α β γ
数理的思考 (M)	統計リテラシー	2	1年	選択	α β γ
	データサイエンスリテラシー 【信大生は所属学部の指定クラスで履修】	1	1年	必修	α β γ
	数学的課題解決入門 【R8年度は信大で先行開講/長大、佐久大はR9年度から開講】	1	1~2年	選択	α β γ
科学 (S)	物理学の世界	2	1~2年	12単位から 2単位を 選択必修	α β γ
	化学の世界	2	1~2年		α β γ
	化学と材料の進歩が世界を変える 【R8年度は信大で先行開講/長大、佐久大はR9年度から開講】	2	1~2年		α β γ
	生物学の世界	2	1~2年		α β γ
	地学の世界	2	1~2年		α β γ
	地球の鼓動と暮らす:災害・資源・文化を読み解く 【R8年度は信大で先行開講/長大、佐久大はR9年度から開講】	2	1~2年		α β γ
工学・環境 (T&E)	工学入門	2	1~2年	4単位から 2単位を 選択必修	α β γ
	環境学入門	2	1~2年	α β γ	
リベラルアーツ (A)	信州学	1	1年	必修	α β γ
	立志学	1	1年	選択	α β γ
	地域課題解析講座	1	2~3年	必修	α β γ
	地域課題PBL【複数コース】	2	3~4年	必修	α β γ
	ミクロ経済学入門	2	1年	選択	α β γ
	マクロ経済学入門	2	1年	選択	α β γ
	経営組織論	1	2年	必修	α β γ
	情報活用型ビジネスソリューション	2	2年	選択	α β γ
	アントレプレナーシップ入門	1	2年	選択	α β γ
	ビジネスとマネジメント	2	1~2年	選択	α β γ
	環境法入門	2	1~2年	選択	α β γ
	社会福祉の考え方	2	1~3年	選択	α β γ
	地域と福祉	2	1~3年	選択	α β γ
	こころとからだの健康	1	1~3年	選択	α β γ
	STEAM教育概論	1	1~3年	選択	α β γ
	心理学	2	1~3年	選択	α β γ
総合	インターンシップ【R9~】	1~2*1	3~4年	選択	α β γ

※科目に変更があった場合、対象者には別途お知らせします。 ※対象学年は目安であり、下限学年より上の学年であれば受講可能です。

*1)「インターンシップ」の単位数は、大学・学部によって異なります。



3大学協働 ▶ 立志学 (後期 水曜5限/1単位) 対面/オンライン開講

本授業では、地域と福祉を軸に、長野県を中心に活躍する実践者の歩みから「志」と社会への関わり方を学びます。ゲストには、地域で実践、活躍するゲスト講師をお迎えし、地域活性事例を学びます。事前課題に取り組んだ上で、大学・学部を越えた学生同士のグループワークを行い、実践する方々がどのように志を立て実現してきたのかを深く理解します。他者との違いや自分の価値観を確かめながら、将来何に関わりたいか、在学中にどんな問いを深めたいかを探究します。学びの成果は自身の言葉でまとめ、独自の考えを組み立て、明確に伝える力を養います。



長野大学提供 ▶ 社会福祉の考え方 (前期/2単位) オンデマンド

本授業「社会福祉の考え方」では、社会福祉の基礎知識と社会福祉学の概要・特徴を学びながら、「福祉とは何か」を多角的に考えます。福祉(welfare)が意味する「幸福」や「安寧」と、それを自他において実現しようとする社会的努力の意義を理解します。なぜ私たちは他者の幸福にも関わるのかを問い直し、身近な社会問題から福祉課題を発見する力を養います。さらに、社会福祉が社会に必要な理由を自分の言葉で説明し、課題解決の方向性を構想する力を身につけます。福祉は理系・文系を問わず、これからの社会を担うすべての学生にとって重要なテーマです。



佐久大学提供 ▶ 地域と福祉 (前期/2単位) オンデマンド

本授業では、現代の地域社会に存在する多様な福祉課題を取り上げ、その発生背景や要因、解決に向けた取り組みの現状について学びます。高齢化や子どもの貧困、障がい者支援などの具体的事例を通して、課題を構造的に捉える力を養います。また、社会福祉士や行政職、医療・教育関係者など各専門職の役割を理解し、分野を越えた連携・協働の重要性について考察します。福祉課題は専門職だけでなく、地域住民や企業など多様な主体の関わりによって支えられています。本授業では、地域の一員としてどのように課題解決に関わることができるのかを主体的に考える力を身につけます。

地域課題PBL (前期・後期・通年(集中)から選択/対象:3年生以上/単位:2単位)

地域課題PBLは、地域社会が抱えるリアルな課題をテーマに、学生自身が「課題を見つけるところ」から「解決策を提案するところ」まで取り組む実践型の授業です。自治体・企業・NPOなど地域の多様な主体と連携し、調査やフィールドワーク、対話を重ねながら、現場に根ざした課題解決に挑戦します。教室での学びに加え、地域の人々との協働を通じて、課題発見力・解決力・対話力といった実践的な力を身につけることを目的としています。コースごとに、アクティブラーニング、ものづくり、合同・横断テーマなど異なるアプローチを取り入れ、多角的な視点から課題解決を考える授業です。授業は、①インプット→②課題設定→③グループワーク→④発表→⑤評価の流れで実施します。また、5コース合同成果報告会も行います。



5つのコースから選択

A 大規模・アクティブ ラーニング型	B データ起点の 企画提案型	C ものづくり提案型	D 地域魅力発信型	E 横断テーマ ・フィールド型
長野大学	信州大学経済学部	信州大学工学部	信州大学繊維学部	3大学合同
企業や自治体を招き、大学内で実施する大人数のアクティブラーニングを行う。地域課題をテーマにPBLで問いを立て、調査・議論・提案を実施。グループで課題解決を探究し、成果発表を行う実践型授業。	実データを用いたPBL形式で、データ活用計画から分析・意思決定までを実践。マーケティング課題に挑み、企画提案力と実社会で通用する課題解決力を養う授業。	TinkercadやBlenderで3D制作を学び、デジタルファブリケーションや3Dプリンターを体験。発想法を用いたグループワークで商品企画を行い、成果発表まで行う実践型授業。	上田の自然・観光・文化・産業を学び、3D CADや編・織・縫製・映像制作を実践。地域活性化コンテンツを企画・制作し、成果発表まで行う実践型授業。	3大学が協働し、10名ほどの混成チームで、企業や地域課題の解決実践型として実施する。地域活性化をテーマにPBLで課題構造化から分析、企画立案・実践まで行う。
前期・火曜4限	前期・月曜3限	前期・水曜3限	後期・月曜5限	夏季期間・土日集中
長野大学で実施	松本キャンパスで実施 オンライン併用	工学部キャンパス オンライン併用	繊維学部+地域FW	オンライン+各大学+地域FW

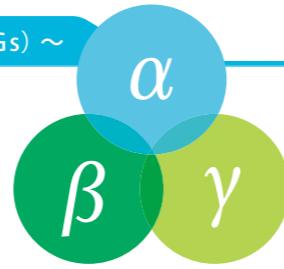
ShinXiaで育む主体的な学び

ShinXiaを通じて育成する地域活性化人材が有すべき能力

ShinXia (SPARC) では、「主体的な学びによって地域の問題を自ら解決し未来を選択できる人材」を「地域活性化人材」と呼び、各授業科目や学びを加速させる各システム等を通じて、以下の知識・技能、能力や態度を身に付けた人材の育成を行います。

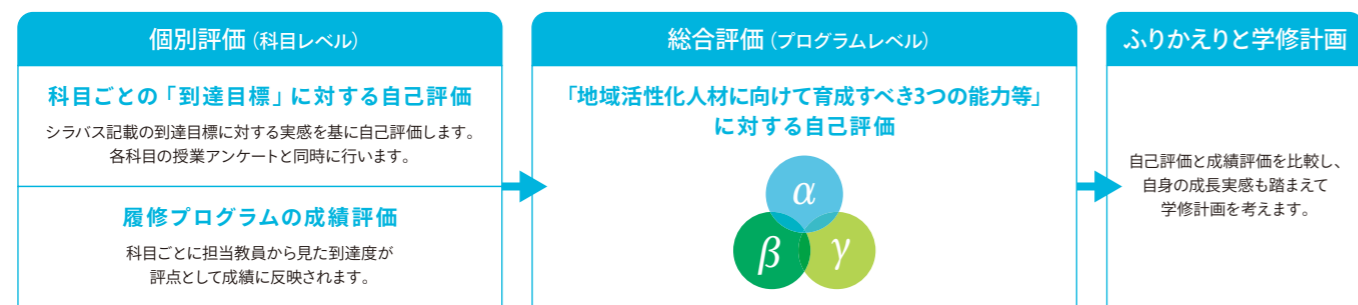
地域活性化人材に向けて育成すべき3つの能力等 ～ShinXia Learning Goals (SLGs)～

- α** 信州の活性化に係る知識・技能
- β** 信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力等
- γ** 信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度



学びのふりかえり (ポートフォリオにおける自己評価)

ShinXia (SPARC) では、「ポートフォリオ」上で履修生が定期的に自らの学びをふりかえり (自己評価)、それを踏まえて目標を設定します。このポートフォリオは、ShinXia (SPARC) コース全体を通じた成長の記録であり、プログラムの修了認定を受けるのに必須となります。ポートフォリオは、自分の学びや成長を記録し、振り返るための大切なツールです。授業の成績だけでなく、5段階の自己評価や学びの記録を通して、「どのような目標を立てたのか」「その目標にどのように取り組んだのか」を整理することができます。地域活性化人材として、自ら課題 (目標) を設定・実践し、その結果を振り返りながら次の目標につなげていく力が重要です。ポートフォリオを活用することで、自分の成長のプロセスを見る形で蓄積し、主体的に学び続ける力を育てていきます。



成長を記録し、次の一歩へつなげるポートフォリオ

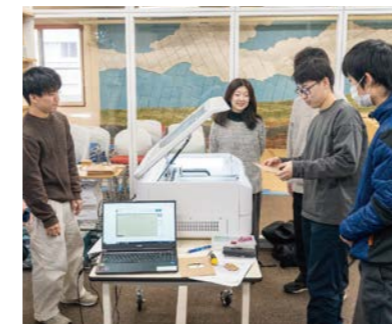
本プログラムでは、ポートフォリオを自己目標の継続的な記録として活用します。単に成績を確認するだけでなく、自分自身で目標を設定し、その達成状況を振り返りながら、新たな目標へとつなげていく力を育てることを目的としています。学修成果は、①直接評価(各科目の成績)、②間接評価(5段階の定量評価+ポートフォリオ)の両面から確認します。ポートフォリオには、自己評価の理由や

根拠、立てた目標、その達成状況を記録します。数値による定量評価と、振り返りによる定性評価を組み合わせることで、自分の成長プロセスを客観的かつ具体的に可視化します。目標設定 → 実践 → 振り返り → 再設定というサイクルを繰り返すことで、主体的に学び続ける力を養います。自ら考え、自ら成長を設計できる力を、このプログラムで身につけていきましょう。

学びを加速するために

多様なデジタル機器が揃う「ShinXiaものづくり拠点」

ShinXiaものづくり拠点は、アイデアを実際の「形」にしながら学べる実践的な学びの場です。3Dプリンターやレーザーカッター、VR、モデリングツール、AIなどのデジタル技術を活用し、思いついたアイデアを試作しながら「考える→作る→試す→改善する」というものづくりのプロセスを体験できます。この場所の特徴は、文系・理系を問わず参加できることです。社会の課題を見つけ、使いやすさや体験をデザインし、技術で形にするという流れの中で、さまざまな分野の知識や発想を活かすことができます。学部や学年を越えて仲間と協働しながら制作することで、新しいアイデアも生まれます。自分の発想を形にしながら、社会につながるものづくりに挑戦してみませんか。



松本 ものづくりスポット

- 所在地** 松本市旭3-1-1 信州大学中央図書館3階
- 利用時間** 平日9:00~20:00 (長期休業期9:00~17:00)
- 設置機材** 3Dプリンター/レーザーカッター
大判インクジェットプリンター/3Dスキャナー
- 問い合わせ** sparc@shinshu-u.ac.jp



工学部 ものづくりスポット

- 所在地** 長野市若里4丁目17-1 信州大学工学部 E8棟 (水環境・土木工学科実験棟) プロジェクトルーム
- 利用時間** 平日9:00~17:00
- 設置機材** フルカラー3Dプリンター/3Dプリンター/3Dスキャナー
大判インクジェットプリンター/レーザーカッター等
- 問い合わせ** kou-sparcfab-ml@shinshu-u.ac.jp



※使用には講習が必要です。プロジェクトルーム内にて授業が実施されている時間帯は利用できません



長野大学 ものづくりスポット Nagadai Site

- 所在地** 上田市下之郷658-1 長野大学9号館2階
- 設置機材** フルカラー3Dプリンター/レーザーカッター
大判インクジェットプリンター/3Dスキャナー
- 問い合わせ** kyomu@nagano.ac.jp
日時を含め利用に当たってはご連絡ください



ShinXiaものづくり拠点のLINEオープンチャット
ものづくり拠点のイベントやTA学生による操作方法説明、
技術講習会の情報を随時配信しています。